

11 昭和38年度学校体育スキー実技講習会

学習指導要領におけるスキー教材の指導内容を研究し実技の指導力向上をはかり、冬期体育の効果的な運営に資するため実施した。

- (1) 期日 昭和39年1月8日～10日の3日間
- (2) 場所 沼尻スキー場
- (3) 参加者 120名（小学校33名，中学校30名，高校14名，一般43名）
- (4) 講師

福島大学教授 菊池哲男

若松商業高等学校教諭 遠藤義行

- (5) 内容および結果 社会体育指導委員を対象としたスキー実技講習会とタイアップして実施し盛会であった。積雪量は甚だ少なく、グレンデには雪がなく雪を求めて山に登り適切な場所を選定してA, B, C, D Eの5級に区分し受講者の技能程度に応じた実技の研修を行なった。積雪量不足ということがかえって幸いとなり受講者の注意集中の因となり基本技術の徹底的な体得となり効果的であった。また本年度よりアルペンのみならずデスタンス（距離走）の講習を実施し好評を得た。夜間は夕食後2時間、講義と研究協議会を行ない、冬期体育のありかたや問題点の解決につとめた。なお、反省としては年々受講者の増加にともない宿舎の設定、練習場の確保選定、講師陣の増員など考慮の要があると思われた。

12 昭和38年度小学校・中学校および高等学校体育実技講習会

文部省主催の北海道、東北、越地区体育実技講習会の伝達をなし、体育実技の指導力を高め、あわせて冬期の体育学習指導と管理についての研修をなした。

- (1) 期日 昭和39年1月30日，31日の2日間
- (2) 会場 徒手器械会場 郡山市立芳山小学校
球技会場 郡山市立郡山第二中学校
リズム運動会場 郡山市立桃見台小学校

- (3) 講師

県教委事務局保健体育課指導主事 鈴木正一

県教委事務局安積出張所指導主事 宗俊辰雄

福島高等学校教諭 陸 勤

郡山市立郡山第三中学校教諭 増田三郎

〃 〃 片岡秀記

郡山市立小原田中学校教諭 島崎正善

湖南村立三代中学校教諭 安藤啓爾

郡山市立赤木小学校教諭 鈴木辰男

〃 〃 相楽桂子

〃 〃 依包トシ

郡山市立桃見台小学校教諭 先崎幸雄

郡山市立芳賀小学校教諭 渡辺昭三

- (4) 参加者 128名（小学校84名，中学校・高校44名）
- (5) 内容 高等学校・中学校の球技はバスケットボールを中心として研修をなし、徒手器械運動、リズム運動、ボール運動（小学校）は冬期間における取り扱いを中軸とし全般的な点にわたって重点的に研修をなし、実技をとおして具体的に、また第二日目の午後の研究協議会に現場における種々の問題点についての研究説明をなし、きわめて有意義であった。

第5節 スポーツの振興

1 スポーツ選手強化の成果

オリンピック東京大会を契機に、スポーツの強化、充実を図ることは年来の宿願であり最大の目標であった。

すでに1959年度に「福島県スポーツ振興5か年計画」を樹て推進して来たがとくにスポーツ振興については、この計画の最終年度に当り、本県スポーツ史に残る意義ある年であった。

すなわちスポーツの技術強化と振興を目標に、国体の成績向上を図り天皇杯の上位進出をねらって来たが着々その成果が挙って来たと思われる、特に昭和38年度山口国体では、天皇杯第15位に躍進したことは各都道府県が競ってスポーツ選手強化を図っている現在、各種目関係者の努力の結晶と認められよう。

国民体育大会の過去の成績表

年度 開催地	34年	35年	36年	37年	38年
	東京	熊本	秋田	岡山	山口
順 位	37位	21位	22位	23位	15位

この方針で進められた本県スポーツの頂点に位するオリンピック東京大会の候補選手が11名、強化選手6名になりこれに準ずる選手も続々輩出して来ていることは朗報といえよう。

本県関係オリンピック候補選手

陸上競技 円谷 幸吉（自衛隊）

体 操 蓮沼 敏子（日体大）

重 量 挙 古山 征男（日本体協）

〃 木村 岳夫（明治大学）

〃 大内 仁（法政大学）

バスケット 志賀 政司（日本鉱業）

ボ ー ル 〃 江川 嘉孝（明治大学）

馬 術 佐藤 伝一（県種畜場）

自 転 車 福原 広次（日本大学）

〃 斑目 秀雄（日本大学）

カヌー 佐藤 忠正（自衛隊）

2 指導者の研修